

X-point

電子サイン連携サービス for GMOサイン

電子サイン連携
全体ガイド

2026/01/30版



はじめに

◆ 本書の目的

本書は、X-point と GMO サインとを連携利用する為に必要なシステムの設定について説明しています。本書をよくお読み頂いた上で設定作業を行ってください。

◆ 対象とする読者

本書は「X-point」のシステム管理者を対象としています。システム管理者とは「X-point」を運用するにあたり必要な設定および基本データの作成、維持管理を行なう本システムの管理権限を持つユーザを指します。

◆ 対応バージョン (2026/01/30)

システム	備考
X-point v3.11 以降	GMO サイン連携の設定を行うには、ライセンスが必要です。
電子サイン連携	

◆ 商標について

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的の為に複製、配布することはできません。

X-point、エクスポイントの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標または登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、MacOS は Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標です。

ORACLE、Java、JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

デスクネッツ、desknet's は株式会社ネオジャパンの登録商標です。

サイボウズ、Cybozu はサイボウズ株式会社の登録商標です。

Google、Google ロゴ、Google Apps は、Google Inc. の登録商標または商標です。

クラウドサインは弁護士ドットコム株式会社の登録商標です。

GMO サインは GMO インターネットグループ株式会社の登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。

本書では、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

◆ 製作著作

©2025 株式会社エイトレッド

目次/索引

- はじめに
 - ◆ 本書の目的
 - ◆ 対象とする読者
 - ◆ 対応バージョン (2026/01/30)
 - ◆ 商標について
- 1 電子サイン連携システム全体概要
- 2 電子サイン連携設定
 - 2.1 前提条件
 - 2.2 設定の流れ
 - 2.2.1 フォーム設定
 - 2.2.2 フォーム設定(X-point 側の設定)
- 3 利用
 - [不可視署名連携・可視署名連携+自動署名ありの連携の場合]
 - [可視署名連携+自動署名なしの連携の場合]
 - [フォルダ ID の取得方法]
 - [フォルダ ID の設定方法]
 - [複数社間契約の場合]
 - [署名期限の設定]
 - [埋め込み設定]
 - 埋め込みテキスト設定
 - 埋め込み日付設定
 - 埋め込みチェック設定
 - [締結先埋め込み設定]
 - 埋め込みフリーテキスト設定
 - 締結先埋め込み日付設定
 - 締結時チェックボックス設定
 - [署名依頼画面起動による連携の場合]
- 4 補足
 - 4.1 エラー時の対応
 - エラーメールの内容に対する対応
 - その他のエラー対応
 - 4.2 GMO サイン各種設定
 - 4.2.1 シークレットキー・組織 ID
 - 4.2.2 文書情報項目設定
 - 4.2.3. GMOサインのIP制限
 - 4.3 連携時に送付されるメールの種類及び関連パラメータの設定
 - 4.4 サンプル帳票内設定パラメーター一覧

1 電子サイン連携システム全体概要

▼ 用語説明

用語	説明
電子サイン	本書では、GMO サインのことを指します。

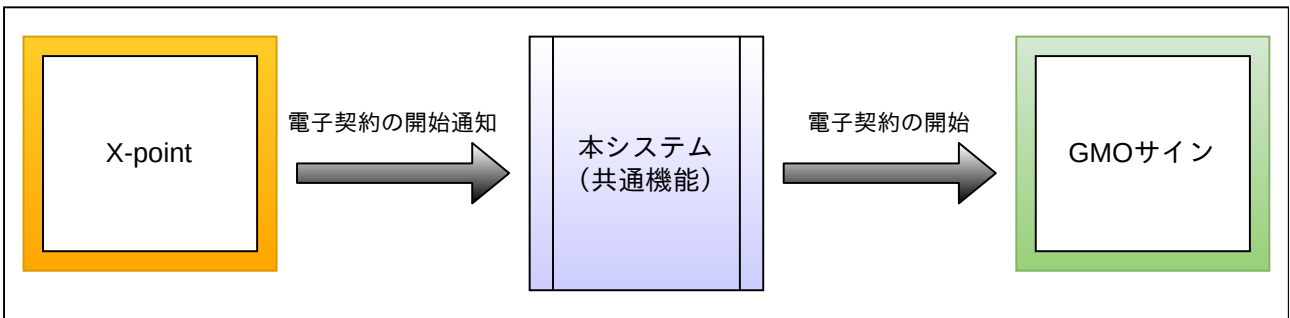
本書は、X-point 運用環境において「電子サイン連携（以下、本システム）」に関する設定について記載したものとなります。

本書は、X-point を構築、運用、管理される方を対象として作成しており、X-point の一般的な利用方法等についての記載は省略しております。

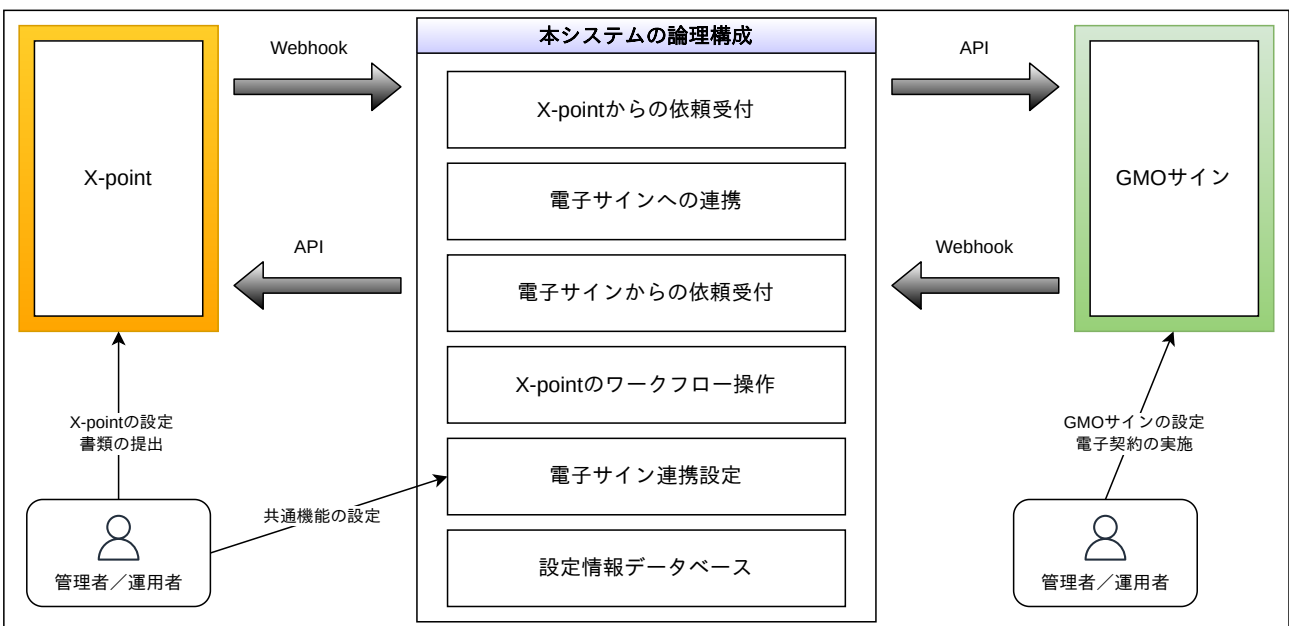
本システムは X-point を用いて、X-point で書類の状態が承認完了となるなど条件を満たした際に、そのフォーム入力した内容及び添付される PDF ファイル（契約書を前提としています）を電子サインへ連携するものとなります。

この為、X-point が正しくインストール設定され、電子サインの利用契約がされた状態でのみ本システムは稼働致します。

※各電子サインのご契約は利用者様自身で行う必要があります。



また、本システム構成は X-point からの受付を行う機能、電子サインへ連携を行う機能、電子サインへの連携設定や認証に必要な情報が納められているデータベース、データベースへの設定情報を記録させる設定機能、電子サインからのワークフロー操作を受け付ける機能、X-point へのワークフロー操作を実施する機能が内在しております。



電子サインへの連携設定に関する詳細については、「電子サイン連携設定ガイド」マニュアルをご参照下さい。

2 電子サイン連携設定

2.1 前提条件

1. 動作環境

電子サイン側「GMOサイン」のライセンスが必要となります。また、本システム利用申込時に株式会社エイトレッド（以下、弊社）より配布致しましたアクセス URL 等の情報についても設定にて必要となります。電子サイン連携の設定詳細は、別途「電子サイン連携設定ガイド」をご参照ください。

2. ブラウザ環境

X-point の環境がサポートされているブラウザを使用してください。

3. フォーム種別

本機能は、フォーム種別が「ワークフロー」のみ対応しております。
（フォーム種別が「通常」となっているものは非対応となります）

4. GMOサイン

- 契約プラン
「契約印&実印プラン」「API オプション」が必要となります。
- GMOサインの利用条件
連携で利用できるのは契約印タイプの機能のみとなります。

5. その他

< eFormMaker >

本マニュアル記載のフォーム関連の作業には以下のライセンスが必要となります。

- eFormMaker（フォーム作成ソフト）

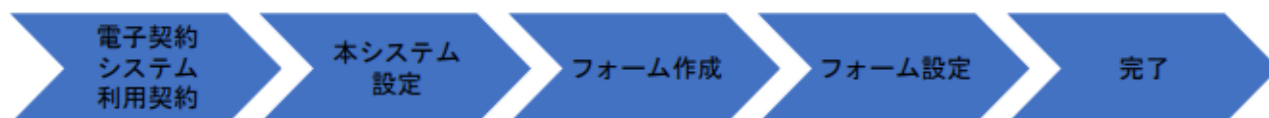
< セキュリティ基本サービス >

本サービスのネットワーク接続は HTTPS が前提となるため以下のオプションが必要となります。

- セキュリティ基本サービス

2.2 設定の流れ

本システムの利用は以下の手順で設定することを想定しています。



【電子サイン利用契約】

GMOサインに関する利用契約が必要となります。
契約はお客様ご自身で実施頂く必要が御座います。

【本システム設定】

本システム設定については、「電子サイン連携設定ガイド」マニュアルをご参照下さい。
設定に当たり、電子サインの利用申込を行った際に受領した設定情報が必要となります。

【フォーム作成】

本システムは X-point を用いて、X-point で書類の状態が承認完了となるなど条件を満たした場合に、そのフォームに添付される PDF ファイル（契約書を前提としています）を電子サインへ連携するものとなります。この為、専用のフォームが必要となります。フォームデータのサンプルはお渡し致しますが、御社に合わせて回付設定等の付帯設定が必要となります。

これらのフォーム設定については、4.その他、及び「eFormMaker フォーム作成ガイド」をご参照ください。

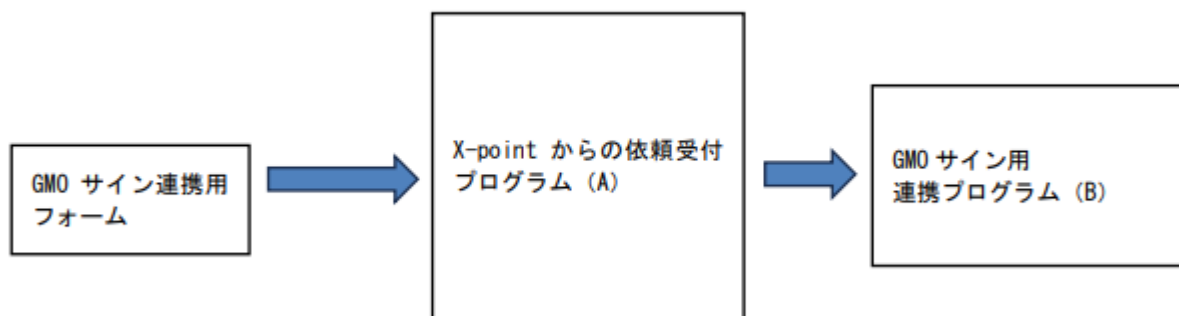
【フォーム設定】

フォーム設定の内、本システムに関与する部分についてのみ説明致します。

本システム以外の設定については、「管理者機能マニュアル」をご参照下さい。

2.2.1 フォーム設定

本システムでは、電子サイン種別（GMO サイン）毎にフォームを連携するフォームを作成する仕様となります。



GMO サイン連携用フォームについては、本システムご利用契約時にサンプルとしてサポートサイトにて配布致します。

以降はそれらのフォームが設定されている前提での説明となります。

2.2.2 フォーム設定(X-point 側の設定)

本システムに必要なフォーム設定は以下の通りとなります。

1. メール設定

X-point で電子サイン連携用のフォームを送信する際に、申請者のメールアドレスが必要となります。

X-point 管理者サイトからユーザ管理画面を開き、対象となる申請者のメールアドレスを設定してください。

不明な場合は「管理者機能マニュアル」をご参照ください

2. Webhook 設定

管理者サイトログイン後のトップページ左側にあるメニューから、「フォーム」を選択します。



「フォーム一覧」が表示されますので、該当フォームの右側にある「他操作」をクリックします。「他操作」が展開され、実施出来る操作メニューが表示されますので、その中から「Webhook 設定」を選択してください。

(ここではサンプルとして「【クラウドサイン】押印申請書」を選択しております。)

名称	枚数	FCD	テーブル名	TSFファイル	アクション
■ 実務書	1枚	DEMO_R01	xp110805	DEMO_R01.tsf	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 物品購入申請書	1枚	A303	xp409999	A303.tsf	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 汎用帳簿	1枚	S152	xp222777	S152.tsf	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 議事録	1枚	E104	xp730975	E104.tsf	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 私物車通勤申請書	1枚	A172	xp464222	A172.tsf	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 給与振込口座変更申請書	1枚	A289	xp612066	A289.tsf	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 【クラウドサイン】押印申請書 (複数行版)	1枚	cloudsign_sampl	xp82789	cloudsign_sample_multi	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 【クラウドサイン】押印申請書 (複数行版) 2	1枚	cloudsign_sampl	xp713777	cloudsign_sample_multi2	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作
■ 【GMOサイン】押印申請書	1枚	gmosign_sample	xp959963	gmosign_sample_02.tsf	🔍 🗑️ 📄 📑 → 他操作



Webhook 設定画面にて Webhook 設定を行います。

「送信先 URL」については本システムご契約時に弊社より割り当てられた URL、

及び必要なパラメータを以下のような形式で指定してください。

https://vykxwumra4edivjt4y5xsrm56y0jvdth.lambda-url.ap-northeast-1.on.aws/?license_no={ライセンス番号}&access_key={アクセスキー}&sign_operator={連携先}

※フォーム内の入力値も必要となるため、「テスト送信」を実行してもエラーとなります。

▼ Webhook 設定画面



【ご参考】

弊社より割り当てられた URL 及びその他必要なパラメータは以下の通りとなります。

(例)

https://vykxwumra4edivjt4y5xsrm56y0jvdth.lambda-url.ap-northeast-1.on.aws/?license_no=licenseXP&access_key=accessKeyA&sign_operator=GMO

URL 部	パラメータコード	記載内容	登録される値	例
URL 部		連携用 URL	https://vykxwumra4edivjt4y5xsrm56y0jvdth.lambda-url.ap-northeast-1.on.aws/	
パラメータ ①	license_no	ライセンス番号	ATLED 社より提供されたものを記載	licenseXP
パラメータ ②	access_key	アクセスキー	電子サイン連携設定で設定した値を記載	accessKeyA
パラメータ ③	sign_operator	連携先	連携先コードを記載 CS(クラウドサイン)	GMO

【X-point のライセンス番号の確認方法】

X-point 管理サイトを開き、システム → システム情報 → X-point 情報内でライセンス番号を確認することができます。

▼ ライセンス番号確認画面



3. フォームに対する閲覧権限

電子サイン連携用フォームに入力した情報を取得するには、電子サイン連携設定のXPの設定で指定したユーザが該当書類を閲覧可能な状態にする必要があります。
詳細は「管理者機能マニュアル」をご参照下さい。

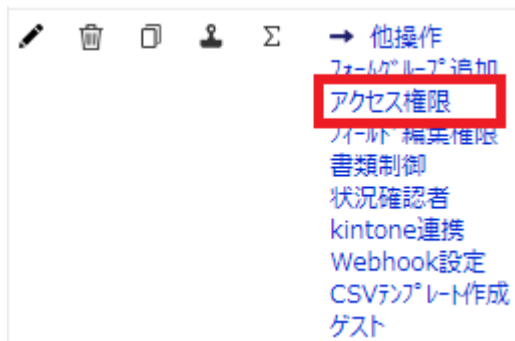
管理者サイトログイン後のトップページ左側にあるメニューから、「フォーム」を選択します。



「フォーム一覧」が表示されますので、該当フォームの右側にある「他操作」をクリックします。
「他操作」が展開され、実施出来る操作メニューが表示されますので、その中から「アクセス権限」を選択してください。

(ここではサンプルとして「【GMOサイン】押印申請書」からの画面を選択しております。)

名称	枚数	FCD	テーブル名	TSPファイル	アクション
■ 異議書	1枚	DEMO_R01	xp110805	DEMO_R01.tsf	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 物品購入申請書	1枚	A303	xp40999	A303.tsf	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 汎用問い合わせ	1枚	S152	xp222777	S152.tsf	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 議事録	1枚	E104	xp730975	E104.tsf	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 私有車運転申請書	1枚	A172	xp464222	A172.tsf	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 給与振込口座変更申請書	1枚	A289	xp612066	A289.tsf	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 【クラウドサイン】押印申請書 (複数行版)	1枚	cloudsign_sampl	xp82789	cloudsign_sample_multir	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 【クラウドサイン】押印申請書 (複数行版) 2	1枚	cloudsign_sampl	xp713777	cloudsign_sample_multir2	会 0 ↓ Σ → 他操作
■ 【GMOサイン】押印申請書	1枚	gmosign_sample	xp959963	gmosign_sample_02.tsf	会 0 ↓ Σ → 他操作



電子サイン連携設定で指定した管理者ユーザに、以下のいずれかの方法で権限を与えてください。

※電子サイン連携設定画面の X-point の設定で指定したユーザがフォームに対する閲覧権限を持っていない場合は、本システムで電子サイン連携を実施することができませんので、必ず設定してください。

i. フォームに対する閲覧権限を付与する場合

アクセス権限画面にて、承認状況が【承認完了】のフォームに対する閲覧権限で、

「全ユーザに権限を与える (※)」または「指定したユーザに権限を与える」を選択してください。

「指定したユーザに権限を与える」を選択した場合は、電子サイン連携設定画面にある X-point の設定で指定したユーザを指定してください。

電子サイン連携設定により、電子契約連携タイミングを特定の承認ステップに設置している場合は、

承認状況が【承認中】のフォームに対する閲覧権限も同様に付与してください。

※電子サイン連携設定については別紙『電子サイン連携 設定ガイド』をご確認ください。

※「全ユーザに権限を与える」を選択した場合は全ユーザに対して、該当するフォームの閲覧権限を与えてしまうため、「指定したユーザに権限を与える」を推奨しております。

画像はサンプルとして、「指定したユーザに権限を与える」を選択しております。

「指定したユーザに権限を与える」場合は、電子サイン連携設定で設定したユーザを追加してください。

アクセス権限 一覧

【gmosign_sample】のアクセス権限の設定を行います。

承認状況	閲覧権限		
	書類に対する閲覧権限	フォームに対する閲覧権限	
【承認中】 承認中 差し戻し 保留	<input checked="" type="radio"/> ワークフロー関係者	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 全ユーザに権限を与える <input checked="" type="radio"/> → 指定したユーザに権限を与える <input type="text" value="管理者"/>	<input checked="" type="radio"/> ワーク ※ 承認ル 付与が → 承
【承認完了】 承認完了 却下	<input checked="" type="radio"/> ワークフロー関係者 ※ 承認完了後、ワークフロー関係者に権限が与えられ、書類単位で権限の追加と削除が行えます → 承認完了書類の閲覧管理	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 全ユーザに権限を与える <input checked="" type="radio"/> → 指定したユーザに権限を与える <input type="text" value="管理者"/> <input type="checkbox"/> 却下書類の閲覧権限を設定する <input checked="" type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 全ユーザに権限を与える <input type="radio"/> → 指定したユーザに権限を与える <input type="text" value="指定なし"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 承認完 <input type="checkbox"/> 全ユー! <input type="checkbox"/> ワークフ <input checked="" type="checkbox"/> 申請者 <input type="checkbox"/> → 指 <input type="checkbox"/> 指定な ※却下書類 <input type="checkbox"/> 承認完 <input checked="" type="checkbox"/> 最終承 <input type="checkbox"/> → 最 <input type="checkbox"/> 指定な

ATLED 電子サイン連携設定

home

電子サイン連携設定

X-pointの設定

ドメインコード

ユーザーコード

トークンコード

- ii. 書類に対する閲覧権限を付与する場合
電子サイン連携設定で指定したユーザを必ずワークフロー関係者に含むようにしてください。

3 利用

本章では、本システムの利用例を記載致します。

X-point 内で電子サイン連携用フォーム申請

説明ではサンプルとして、「【GMO 連携】押印申請書（不可視署名）」を選択しております。

※複数枚フォーム利用時、1 ページ目に電子サイン連携用フォームを設定してください。

2 ページ目以降に設定するとエラーとなり、連携に失敗します。

提出 → 汎用申請書関連 → 電子サイン連携用のフォームを選択

The screenshot shows the X-point system interface. At the top, the user is identified as '営業一課 勝太郎(u001)'. A sidebar on the left contains navigation icons for '提出', '検索', '承認', '分類', 'ケリ', 'インフォ', 'ブックマーク', and '提出期限'. The main content area is titled '提出' and lists various application forms under the category '汎用申請書関連(12)'. The forms listed are:

- 稟議書 (自動選択ルート)
- 物品購入申請書 (自動選択ルート)
- 汎用伺い書 (任意選択ルート (承認者を自由に選択可能))
- 議事録 (自動選択ルート)
- 私有車通勤申請書 (任意選択ルート (添付書類が必須))
- 給与振込口座変更申請書 (自動選択ルート)
- 【クラウドサイン】押印申請書 (複数行版) (自動選択ルート)
- 【GMOサイン】押印申請書(不可視署名) (自動選択ルート)

Below these are several other categories with counts:

- 経費関連(5)
- 報告書関連(3)
- 残業休暇関連(2)
- システム関連(5)
- 人事・諸届関連(3)
- 営業関連(2)
- 駅すばあと連携関連(2)
- その他(拳動確認関連)(1)

ポップアップウィンドウに表示された各フォームに必要な事項を入力し、「添付」に契約書となる PDF を添付処理し、申請（回付を開始）します。

※2 件以上の PDF ファイルの添付をした場合、添付した順で 2 件目以降は署名ではなく文書確認となります。

回付完了したタイミングで、2 章にて設定した Webhook 処理が実行され GMO サインへ連携が開始されます。

以下はサンプルフォームの画像です。サンプルフォームの印影には、「確認」と「決裁」という印影コンポーネントが X-point に登録されている前提となっています。

GMOサイン不可視署名押印申請書

決裁	法務確認	上長承認	申請	申請日	2025年12月8日
				所属会社	
				申請者	
				申請者メールアドレス	

・ 契約書のPDFを1ファイルのみ添付してください。

申請者記入欄	契約書名	※契約書のタイトルをそのまま記入してください。						
	締結先情報	会社名						
		担当者名						
		担当者メールアドレス						
	締結先アクセスコード				言語	日本語		
	契約/取引日				契約満了日			
	所属				担当者			
	契約/取引金額				保管場所			
	備考1	備考2		備考3				
	フォルダID1	フォルダID2		署名	□可視署名			
	署名期限日	署名期限時間		署名期限固定		□		
	署名者変更	□許可する		署名設定URL発行	□			
可視署名利用時記入欄	申請者署名箇所設定	申請者の自動署名	□		署名画像ファイル			
		※署名画像を指定しない場合のみ自動署名が可能です						
		署名位置 (左端)	0	署名位置 (右端)	10	申請者署名ページ		
	署名位置 (上端)	10	署名位置 (下端)	0				
	締結先署名箇所設定	署名位置 (左端)	20	署名位置 (右端)	30	締結先署名ページ		
		署名位置 (上端)	10	署名位置 (下端)	0			
			※署名箇所の位置を0~100の数値で指定します					
		配置確認						
文書管理番号								

埋め込み設定	テキスト設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ
		テキスト					
	日付設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ
日付				日付書式			
チェック設定	左端	右端	上端	下端	ページ	配置確認	
締結時埋込設定	フリーテキスト配置設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ
		ブレースホルダ					必須
	日付設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ
		自動入力		□しない	日付書式	YYYY/MM/DD	必須
チェック設定	左端	右端	上端	下端	ページ	初期チェックなし(任意)	

配置確認

必須項目及び、電子サイン側に反映される項目を以下の表に記述します。
 必須項目が入力されていない場合は申請が不可能です。必須項目を入力してから申請を行ってください。
 複数の PDF を連携する場合、添付した順で最初のものが署名 PDF となります。
 署名や埋め込み設定等は署名 PDF のみ可能となります。

項目	必須項目	概要
所属会社	○	申請者の所属会社を入力します。
申請者	○	申請者の名前が自動入力されます。
申請者メールアドレス	○	申請者のメールアドレスが自動入力されます。 (申請者にメールアドレスが登録されている必要があります。) 電子サイン連携設定で「申請者メールアドレス宛にもエラーメールを送信する」にチェックを入れている場合、 エラーが発生した際は電子サイン連携設定で設定したエラーメール送信先宛だけでなく、このフィールドに入力されているメールアドレス宛にもエラー通知メールが送信されます。
契約書名	○	契約書の名前を入力します。入力した内容は、GMO サイン側の文書名と連携されます。
締結先情報：会社名	○	締結先の会社名を入力します。GMO サイン側の相手方情報と連携されます。
締結先情報：担当者名	○	締結先の担当者名を入力します。GMO サイン側の相手側情報と連携されます。
締結先情報：担当者メールアドレス	○	締結先の担当者のメールアドレスを入力します。このメールアドレス宛に署名依頼メールが送信されます。
締結先アクセスコード		入力した内容は連携した書類に署名する際のアクセスコードと連携されます。
言語		選択した言語で締結先にメールが送信されます。(日本語、英語)
契約/取引日		入力した内容は GMO サイン側の契約/取引日と連携されます。
契約満了日		入力した内容は GMO サイン側の契約満了日と連携されます。
契約/取引金額		入力した内容は GMO サイン側の詳細情報：契約/取引金額と連携されます。
所属		入力した内容は GMO サイン側の詳細情報：所属と連携されます。
担当者		入力した内容は GMO サイン側の詳細情報：担当者と連携されます。
担当者メールアドレス		申請者のメールアドレスが自動入力されます。
保管場所		入力した内容は GMO サイン側の詳細情報：保管場所と連携されます。
備考 1		入力した内容は GMO サイン側の詳細情報：備考 1 と連携されます。
備考 2		入力した内容は GMO サイン側の詳細情報：備考 2 と連携されます。
備考 3		入力した内容は GMO サイン側の詳細情報：備考 3 と連携されます。
フォルダ ID1,2		GMO サイン側で作成したフォルダのフォルダ ID を入力すると連携した書類が、GMO サイン側のフォルダ内に格納されます。 ※ フォルダ ID の取得方法 を参照してください
署名期限日・時刻		締結先の署名期限を設定します。 複数社契約の際はそれぞれの締結先に個別で署名期限を設定することが可能です。

署名期限固定		締結先の署名期限を固定します。 (固定する場合 GMO サイン側の操作で再署名依頼をしても署名期限が延長されず、連携時に指定した期限日で固定されます。)
可視署名チェック		チェックを入れる则可視署名(押印が押される署名)として GMO サイン連携を行います。
署名設定URL発行		設定すると、承認完了後に書類のコメント欄に署名依頼画面を起動する URL が追加されます。 この方法では、署名位置を URL のリンクからブラウザ上で指定できます。
自動署名		チェックを入れていると、可視署名で連携を行う際に申請者の署名を自動で行います。 可視署名チェックを入れていない場合はこの値は参照されません。
署名画像ファイル		自動署名を行うときに画像ファイル名を指定すると、指定した画像が申請者の署名として自動署名されます。 (ファイル名の指定は拡張子まで指定する必要があります。) 自動署名が可能な状態でのみ利用可能です。 指定する画像ファイルは GMO サインに提出している必要があります。
申請者：署名位置	△	0 ~ 100 の数値で署名 PDF に申請者が署名する箇所を指定します。0 が PDF の左端,下端で、100 が PDF の右端,上端となります。 可視署名チェックを入れている場合はこの値は必須項目となります。 可視署名チェックを入れていない場合はこの値は参照されません。
申請者：署名ページ指定	△	申請者が、署名 PDF のどのページに署名を行うか指定します。 可視署名チェックを入れている場合はこの値は必須項目となります。 可視署名チェックを入れていない場合はこの値は参照されません。
締結先：署名位置	△	0 ~ 100 の数値で署名 PDF に締結先が署名する箇所を指定します。0 が PDF の左端,下端で、100 が PDF の右端,上端となります。 可視署名チェックを入れている場合はこの値は必須項目となります。 可視署名チェックを入れていない場合はこの値は参照されません。
締結先：署名ページ指定	△	締結先が、署名 PDF のどのページに署名を行うか指定します。 可視署名チェックを入れている場合はこの値は必須項目となります。 可視署名チェックを入れていない場合はこの値は参照されません。
埋め込み設定(テキスト):位置設定		0 ~ 100 の数値で署名 PDF に埋め込みテキストを配置する箇所を上下左右端の 4 点指定します。0 が PDF の左端・下端で 100 が PDF の右端・上端となります。
埋め込み設定(テキスト): ページ指定		署名 PDF のどのページに埋め込みテキストを配置するか指定します。
埋め込み設定(テキスト): フォントサイズ		埋め込みテキストのフォントサイズを指定します。 指定がない場合は 10.5 が設定されます。
埋め込み設定(テキスト): テキスト		埋め込みテキストの内容を指定します。
埋め込み設定(日付): 位置設定		0 ~ 100 の数値で署名 PDF に埋め込む日付の位置を指定します。 0 が PDF の左端・下端で、100 が PDF の右端・上端となります。
埋め込み設定(日付): ページ指定		署名 PDF のどのページに埋め込み日付を配置するか指定します。
埋め込み設定(日付): フォントサイズ		埋め込み日付のフォントサイズを指定します。 指定がない場合は 10.5 が設定されます。

埋め込み設定（日付）：日付		埋め込む値を指定します。 値は YYYYMMDD 形式で指定する必要があります。
埋め込み設定（日付）：日付書式		埋め込む日付の表示書式を指定します。 指定がない場合は YYYY/MM/DD が設定されます。
埋め込み設定(チェック)：位置設定		0～100の数値で署名 PDF に埋め込むチェックボックスの位置を指定します。 0が PDF の左端・下端で、100が PDF の右端・上端となります。
埋め込み設定(チェック)：ページ指定		署名 PDF のどのページに埋め込みチェックボックスを配置するか指定します。
フリーテキスト設定：位置設定		0～100の数値で署名 PDF に締結者が入力できるフリーテキストを配置する箇所を上下左右端の4点指定します。 0が PDF の左端・下端で100が PDF の右端・上端となります。
フリーテキスト設定：ページ指定		署名 PDF のどのページにフリーテキストを配置するか指定します。
フリーテキスト設定：フォントサイズ		フリーテキストに入力するテキストのフォントサイズを指定します。 指定がない場合は 10.5 が指定されます。
フリーテキスト設定：プレースホルダ		フリーテキストのプレースホルダを指定します。
フリーテキスト設定：必須設定		フリーテキストへの入力を必須にするか指定します。
締結時日付設定：位置設定		0～100の数値で署名 PDF に締結者が入力できる日付を配置する箇所を上下左右端の4点指定します。 0が PDF の左端・下端で100が PDF の右端・上端となります。
締結時日付設定：ページ指定		署名 PDF のどのページに日付を配置するか指定します。
締結時日付設定：フォントサイズ		日付欄に入力するテキストのフォントサイズを指定します。 指定がない場合は 10.5 が指定されます。
締結時日付設定：自動入力設定		署名時に日付欄に日付を自動で入力させるかを指定します。 自動入力させる場合、プレースホルダと必須設定の内容は無視されます。
締結時日付設定：日付書式		日付欄に表示する日付の書式を指定します。
締結時日付設定：必須設定		締結者が署名時に日付欄の入力を必須にするか指定します。
締結時日付設定：プレースホルダ		日付欄のプレースホルダを指定します。
締結時チェックボックス設定：位置設定		0～100の数値で署名 PDF に締結者が入力できるチェックボックスを配置する箇所を上下左右端の4点指定します。 0が PDF の左端・下端で100が PDF の右端・上端となります。
締結時チェックボックス設定：ページ指定		署名 PDF のどのページにチェックボックスを配置するか指定します。
締結時チェックボックス設定：必須指定		締結者が署名時にチェックボックスの入力を必須にするか指定します。

※各項目の詳細については、補足 4.4.「サンプル帳票内設定パラメータ一覧」をご参照ください
※「管理番号」の項目については、システムが自動入力するため、登録はしないでください。

[不可視署名連携・可視署名連携＋自動署名ありの連携の場合]

承認完了となるなど条件を満たすと、締結先の「担当者メールアドレス」に記載したメールアドレス宛に、GMO サインから署名依頼メールが送付されます。



申請書類が承認完了となるなど条件を満たすと「担当者メールアドレス」に記載されたメールアドレス宛に上記のメールが送信されます。

上記メールから「文書を確認する」を押下し、GMO サイン側で署名を完了すると、締結完了となります。また、締結完了後、申請者のメールアドレスに締結完了メールが送信されます。

以下のように連携時に署名画像ファイル名を記入することで、自動署名の押印画像を指定することができます。

申請者の自動署名	■	署名画像ファイル	カスタム押印.png
----------	---	----------	------------

指定した画像ファイルは、申請者の署名画像としてとして自動署名の際に押印されます。

※指定する画像ファイルは GMO サインに提出している必要があります。

請求書					
〒000-0000 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX21F 〇〇 株式会社 〇〇〇〇 御中			請求日: 2022年2月8日 請求番号: 1234567890 株式会社らくーず 〒000-0000 愛知県名古屋市中村区名駅2丁目35番 メビウス名古屋ビル2階 TEL: FAX: E-Mail: 担当:		
下記の通りご請求申し上げます。					
前回請求額 (税込)	入金額	締結金額	今回金額	消費税	今回請求額
¥3,300	¥1,300	¥2,000	¥3,000	¥300	¥5,300
日付・番号	品番・品名	数量	単価	金額	
2022-02-08	サンプル	1 式	¥100	¥100	
		2 信	¥200	¥400	
		3 時間	¥300	¥900	

[可視署名連携＋自動署名なしの連携の場合]

承認完了となるなど条件を満たすと締結先の「担当者メールアドレス」に記載したメールアドレスと「申請者メールアドレス」宛に GMO サインから署名依頼メールが送信されます。

全員の署名が完了すると締結完了となり、GMO サインから締結完了メールが送信されます。

※「確認依頼メール」が送付された段階で、GMO サインのページにログインし、連携完了した書類の情報を確認することが可能です。GMO サインのページに関する操作は、GMO サインのマニュアルを参照してください。

※GMO サインで署名依頼を行った後、自動リマインド通知のメールが依頼先に配信されるようになります。(リマインド通知メールの詳細については、GMO サインヘルプセンター内の記載をご参照ください)

また、連携が完了しましたら、GMO サインのページにログインし、「文書管理」→ 一覧表示 より、該当の封筒から書類をクリックすると GMO サイン側で、文書情報を確認することも可能です。

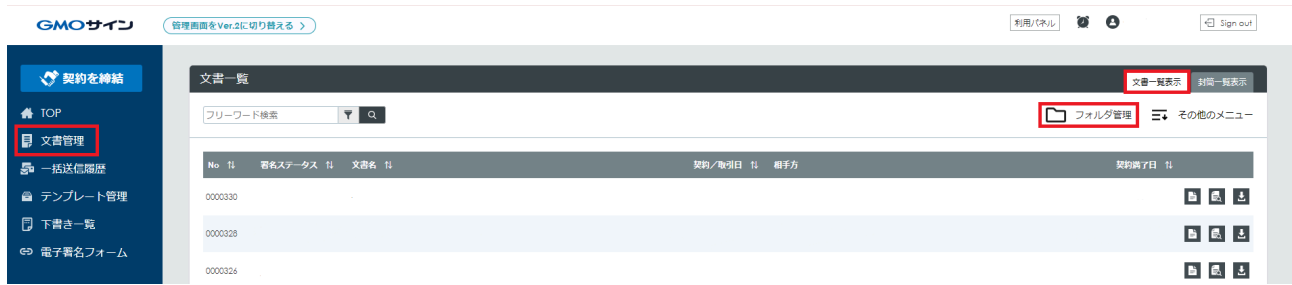
The screenshot shows the 'GMOサイン' (GMO Sign) management interface. The left sidebar contains navigation options: '契約を締結' (Execute Contract), 'TOP', '文書管理' (Document Management), '一括送信履歴' (Batch Send History), and 'テンプレート管理' (Template Management). The main area displays a document titled '封筒一覧' (Envelope List). A red box highlights the document details, including the sender '株式会社 太郎(001)' and recipient '株式会社 株式会社'. Below the document list, two callout boxes provide instructions: one for viewing the document name and content, and another for viewing company and applicant information.

【契約書名】で記載の内容を表示

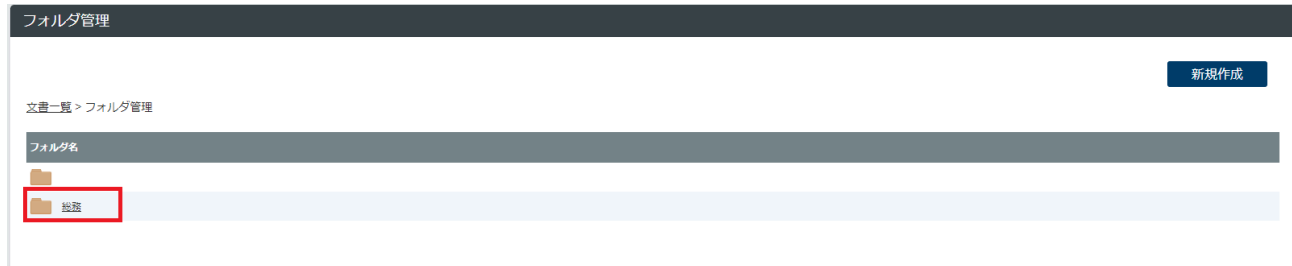
【所属会社】 【申請者】
【提携先情報：会社名】 【提携先情報：担当者名】

[フォルダ ID の取得方法]

GMO サイン管理画面の「文書管理」タブから「文書一覧」を開き、「フォルダ管理」画面へ遷移します。



フォルダ ID を取得したいフォルダを選択します。



選択後、URL 末尾にある 6 桁の数字がフォルダ ID となります。

また、GMO サイン API のフォルダ情報取得 API から取得することも可能です。
(GMO サイン API についての詳細は GMO サインのマニュアルを参照してください。)

[フォルダ ID の設定方法]

取得したフォルダ ID を該当フィールドに入力することでフォルダ ID に対応したフォルダ内に書類が追加されます。
複数フォルダに格納する場合は、格納するフォルダの数だけフィールドを作成し、フィールド ID を連番にする必要があります。

例：連携した書類を 3 つのフォルダに追加したい場合

フィールド ID 「folder_id_1」「folder_id_2」「folder_id_3」と指定したフィールドを連携フォーム内に用意し、それぞれにフォルダ ID を入力し連携を行う。

※フォルダ 3 つ分の入力欄を用意した状態で 2 つのフォルダに格納することも可能です。

[複数社間契約の場合]

締結先を複数指定して連携を行いたい場合は以下フィールドをそれぞれ追加し、追加したフィールドに 1 社分ずつ情報を入力する必要があります。

- 締結先情報：会社名
- 締結先情報：担当者名
- 締結先情報：担当者メールアドレス
- 締結先：署名位置（左端）
- 締結先：署名位置（右端）
- 締結先：署名位置（上端）
- 締結先：署名位置（下端）
- 締結先：署名ページ指定

フィールドを作成する際、各フィールド ID を設定する必要があります。

「[4.4 サンプル帳票内パラメータ一覧](#)」を参照し対応する ID を設定してください。
また、フィールド ID の設定について以下のような設定を行います。

例：締結先を3社指定する場合

締結先1社目のフィールドIDを以下のように設定

「[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールドID」 + 「_1」
(締結先情報：会社名なら「cust_organize_nm_1」と設定)

締結先2社目のフィールドIDを以下のように設定

「[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールドID」 + 「_2」
(締結先情報：会社名なら「cust_organize_nm_2」と設定)

締結先3社目のフィールドIDを以下のように設定

「[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールドID」 + 「_3」
(締結先情報：会社名なら「cust_organize_nm_3」と設定)

以上の例のようにフィールドIDの末尾に連番をいれて設定してください。

※同じフィールド内に2社以上の情報を入力しても、連携時に1社分の情報として扱います。
4社分の入力欄を作成している状態で2社間契約を行うことも可能です。

※最低でも1社分の情報入力は必須です。

契約書名	契約書	
締結先情報	会社名	A社
	担当者名	担当太郎
	担当者メールアドレス	tantou@mail.com
	会社名	
	担当者名	
	担当者メールアドレス	
	会社名	
	担当者名	
	担当者メールアドレス	
	会社名	
担当者名		
担当者メールアドレス		

[署名期限の設定]

締結先に署名期限を設定したい場合、以下のフィールドから設定が可能です。

- 署名期限日（入力/表示書式は yyyy/mm/dd）
- 署名期限時間（入力/表示書式は hh:mm:ss）

署名期限日	署名期限時間
-------	--------

署名期限日が正しく入力されている場合、署名期限時間が入力されていない状態やフィールドがない状態でも連携されます。

（この場合の署名期限時間は0時0分で連携されます。）

※署名期限日の書式が間違っている場合は連携に失敗します。

連携後の署名期限はGMOサイン側の封筒詳細情報画面から確認が可能です。

 署名期限 2024/09/10 12:00:00

複数社間契約を行う場合にもそれぞれの締結先に署名期限を設定することが可能です。
この場合は署名期限設定用のフィールドを追加してください。

例：締結先を3社指定する場合

締結先のフィールド ID 末尾の番号と同じ番号を署名期限設定用のフィールド ID に追加します。

締結先 1 社目の署名期限設定用のフィールドを以下のように設定
「[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールド ID」 + 「_1」
(署名期限日は「sign_due_date_1」と設定)

締結先 2 社目の署名期限設定用のフィールドを以下のように設定
「[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールド ID」 + 「_2」
(署名期限日は「sign_due_date_2」と設定)

締結先 3 社目の署名期限設定用のフィールドを以下のように設定
「[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールド ID」 + 「_3」
(署名期限日は「sign_due_date_3」と設定)

[埋め込み設定]

署名時に契約書 PDF に埋め込み情報を設定したい場合、以下のフィールドから設定可能です。

- 埋め込みテキスト設定
- 埋め込み日付設定
- 埋め込みチェック設定

埋め込み設定は**各項目最大5個ずつ**設定することが可能です。

埋め込み設定	テキスト設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ
		テキスト					
	日付設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ
		日付					日付書式
チェック設定	左端	右端	上端	下端	ページ	配置確認	

埋め込みテキスト設定

以下のフィールドを作成し、入力した内容を基として契約書にテキストが埋め込まれた状態で署名依頼が送信されます。

- テキスト位置(左端、右端、上端、下端)
- テキスト位置 (ページ)
- テキストフォントサイズ
- テキスト内容

フィールドを作成する際、各フィールド ID を設定する必要があります。
「4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧」を参照し対応する ID を設定してください。

また、フィールド ID の設定について以下のような設定を行います。

例) 埋め込みテキストを2つ配置したい場合

2025/04/23

埋め込みチェック設定

以下のフィールドを作成し、入力した内容を基として契約書にチェックボックスが埋め込まれた状態で署名依頼が送信されます。

- 埋め込みチェックボックス配置(左端、右端、上端、下端)
- 埋め込みチェックボックス配置 (ページ)

設定したチェックボックスはすべてチェックがついた状態で契約書に埋め込まれます。
埋め込みテキスト・埋め込み日付と同じくフィールドを作成する際に各フィールド ID を設定する必要があります。

▼ 埋め込みチェックボックス設定を行った際の例

	日付				日付書式	YYYY/MM/DD					
チェック設定	左端	3	右端	10	上端	63	下端	50	ページ	1	配置確認

日付・番号	品番・品名
2000-00-00	サンプル
<input checked="" type="checkbox"/>	

[締結先埋め込み設定]

締結先の署名時に埋め込み可能なテキストを設定したい場合以下のフィールドから設定可能です。

- 埋め込みフリーテキスト設定
- 締結時日付設定
- 締結時チェックボックス設定

締結先埋め込み設定は設定している締結先 1 人につき各項目最大 5 個ずつ設定することが可能です。

締結時埋込設定	フリーテキスト 配置設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ	
		プレースホルダ						必須
	日付設定	左端	右端	上端	下端	ページ	フォントサイズ	
		自動入力		ロしない	日付書式	YYYY/MM/DD	必須	<input type="checkbox"/> 任意にする
チェック設定	左端	右端	上端	下端	ページ	初期チェックなし(任意)		
								配置確認

埋め込みフリーテキスト設定

以下のフィールドを作成し、入力した内容を基として契約書にフリーテキスト欄が設置された状態で署名依頼が送信されます。

設置されたフリーテキスト欄は、設定した締結先が署名する際に入力可能になります。

- 埋め込みフリーテキスト配置（左端、右端、上端、下端）
- 埋め込みフリーテキスト配置（ページ）
- 埋め込みフリーテキスト配置（フォントサイズ）
- 埋め込みフリーテキストプレースホルダ
- 埋め込みフリーテキスト入力必須

フィールドを作成する際、各フィールド ID を設定する必要があります。

4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧を参照し対応する ID を設定してください。

また、フィールド ID の設定について以下のような設定を行います。

例) 埋め込みテキストを締結先 1 と締結先 2 に対して 2 つずつ配置したい場合

締結先 1 の埋め込みフリーテキストのフィールド ID を以下のように設定

cs_1 + 「[5.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールド ID」 + 「_1(_2)」

(プレースホルダなら「cs_1_ft_ph_text_1」, 「cs_1_ft_ph_text_2」)

締結先 2 の埋め込みテキストのフィールド ID を以下のように設定 cs_2 + 「[5.4 サンプル帳票内パラメーター一覧]から参照したフィールド ID」 + 「_1(_2)」

(プレースホルダなら「cs_2_ft_ph_text_1」, 「cs_2_ft_ph_text_2」)

▼ 埋め込みフリーテキスト設定例

フリーテキスト 配置設定	左端	10	右端	20	上端	30	下端	25	ページ	1	フォントサイズ	20
	プレースホルダ	入力してください								必須	<input checked="" type="checkbox"/> 必須にする	



締結先埋め込み日付設定

以下のフィールドを作成し、入力した内容を基として契約書に日付入力欄が設置された状態で署名依頼が送信されます。

設置された日付欄は設定した締結先が署名する際に入力可能になります。

- 締結時日付配置(左端、右端、上端、下端)
- 締結時日付配置 (ページ)
- 締結時日付 (フォントサイズ)
- 締結時日付自動入力
- 締結時日付書式
- 締結時日付入力必須
- 締結時日付プレースホルダ

日付書式は以下の書式から選択が可能です。

- YYYY/MM/DD
- YYYY 年 M 月 D 日
- DD/MM/YYYY
- MM/DD/YYYY
- GGE 年 M 月 D 日
- DD MMM YYYY
- MMM DD YYYY

フリーテキスト設定と同じくフィールドを作成する際に各フィールド ID を設定する必要があります。

▼ 締結時日付設定例

日付設定	左端	10	右端	20	上端	50	下端	45	ページ	1	フォントサイズ	20
	自動入力		ロしない		日付書式		YYYY/MM/DD		必須		<input checked="" type="checkbox"/> 必須にする	
	プレースホルダ		入力してください									



締結時チェックボックス設定

以下のフィールドを作成し、入力した内容を基として契約書にチェックボックスが設置された状態で署名依頼が送信されます。

設置されたチェックボックスは設定した締結先が署名する際に入力可能になります。

- 締結時チェックボックス配置(左端、右端、上端、下端)
- 締結時チェックボックス配置 (ページ)
- 締結時チェックボックス初期状態

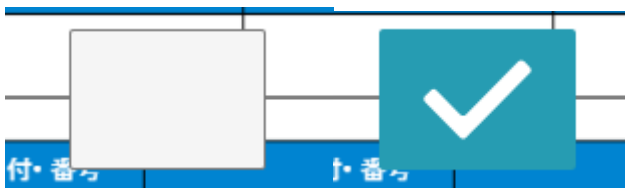
締結時チェックボックス初期状態は以下を設定可能です。

- 初期チェックなし（チェックは任意）
- 初期チェックなし（チェックは必須）
- 初期チェックあり（チェックは任意）

フリーテキスト設定と同じくフィールドを作成する際に各フィールド ID を設定する必要があります。

▼ 締結時チェックボックス設定例

チェック設定	左端	10	右端	20	上端	70	下端	65	ページ	1	初期チェックなし(任意)
--------	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	---	--------------



[署名依頼画面起動による連携の場合]

連携フォームに「署名設定URL発行」フィールドを配置してチェックを入れた状態で連携すると、連携条件を満たした時点で書類のコメント欄に以下の情報が追加されます。

- 署名依頼URL
- 有効期限

コメント欄に記載された URL を有効期限内に開くと「署名位置の設定」画面が表示されます。この画面では以下の設定が可能です。

- **署名の位置設定**：印影の配置、不可視署名の設定
- **テキストボックスの追加**：送信者・送信先のテキストボックス追加、テキストボックスの詳細設定（入力ガイドの挿入、必須項目設定、フォントサイズの設定）
- **チェックボックスの追加**
- **日付パーツの追加**：日付パーツの配置、日付パーツの詳細設定（入力者設定、自動埋め込み、日付の表示形式設定）

設定完了後、「次へ」→「送信」と進むことで、締結先へ署名依頼メールが送信されます。

※ URL の有効期限は通常、本 API 使用時点から 2 週間後です。有効期限を過ぎた場合は、GMO サインで下書きとなっている文書が自動的に削除されます。削除された場合は、再度連携を実施する必要があります。

※この方法では、サンプルフォーム上の以下の項目の記載内容は「署名位置の設定」画面に反映されません。これらの座標位置の設定は、画面上で行う必要があります。

- 埋め込み設定
- 締結先埋め込み設定
- 申請者署名箇所設定
- 締結先署名箇所設定

4 補足

4.1 エラー時の対応

書類に PDF を添付しなかった、GMO サイン側で対応できない PDF を添付した、書類の入力内容に不備があったなどの場合は電子サイン連携が失敗し、原因に応じたエラーメールが送信されます。

各エラーに対する対応例を以下に記載します。

以下エラーの対応は、電子サイン連携設定済みである場合の対応方法です。

また、電子サイン連携が開始された段階で AgileWorks の書類は更新されております。

エラーメールの原因を取り除いたうえで、必要であれば書類を再提出するなどご対応ください。

※電子サイン連携設定を行っていない場合は、設定を行ってください。

詳細は、「電子サイン連携設定ガイド」をご参照下さい。

エラーメールの内容に対する対応

1. 設定でエラーが発生した場合

- 認証エラー accessKey の値を確認してください
 - Webhook で設定した accessKey が電子サイン連携設定画面で設定した値を同じか確認してください。
- ドキュメント情報取得に失敗しました:null
 - 該当書類に対して、電子サイン連携設定画面の基本設定で指定したユーザが権限を持っているか確認してください。

2. 電子サイン連携用フォームでエラーが発生した場合

電子サイン連携用フォーム内の必須項目が設定、または入力されていない場合はエラーメール内の[連携失敗の詳細]に以下のような文章が記載されます。

例)

エラー ID:0405 -- カラム名 sales_organize_nm は必須項目です。

- 上記のような内容の場合は対象のフィールド ID が存在することを確認してください。
必要なフィールド ID は[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧](#)をご参照下さい。
- 対象のフィールドに必要な値が入力されていることを確認してください。
必須項目は[4.4 サンプル帳票内パラメーター一覧](#)をご参照下さい。

3. GMO サイン側の API 仕様でエラーとなる場合

- エラー ID:0500 -- GMO Agree API 連携に失敗しました。
 - 該当書類に PDF ファイルが添付されていることを確認してください。

その他のエラー対応

- X-point からの Webhook が送信されない
 - 対象のフォームに Webhook 設定がされているか確認してください。

- Webhook 送信先設定で指定した licenseNo が正しいか確認してください。
- GMO サインからの確認依頼メールが誤った相手先に送信されてしまう
 - フォーム内の締結先のメールアドレスを確認してください。

4.2 GMO サイン各種設定

当サービスを利用するにあたり、GMO サインにて下記を設定する必要があります。
 ※操作方法は GMO サインのマニュアル及びヘルプセンターを参照してください。

- シークレットキー/組織 ID
- 文書情報項目設定

4.2.1 シークレットキー・組織 ID

当連携プログラムでは、API を使用して、文書情報を登録します。この API を実行するためには、事前に取得した GMO サインのシークレットキー・組織 ID を設定する必要があります。

そのため、GMO サインのシークレットキー・組織 ID を電子サイン連携設定画面で設定しておく必要があります。詳細な設定方法は「電子サイン連携設定ガイド」をご覧ください。

4.2.2 文書情報項目設定

X-point のフォームで作成した任意の値を、GMO サインの文書情報項目として連携することができます。

連携するにあたり、GMO サイン側で文書情報項目を設定する必要がありますので、事前に GMO サインに管理者 ID でログインし、左メニューの管理者メニュー>管理パネルをクリックし設定画面に移動後、文書管理タブから必要な文書情報項目を設定してください。

※X-point から連携する文書管理番号は、文書情報項目として標準で用意されている備考 1～3 のいずれかに連携が可能です。管理パネルから任意で追加できるフィールド 1～5 には連携できません。

The screenshot shows the 'GMOサイン' management interface. The left sidebar includes '契約を締結', 'TOP', '文書管理', '一括送信履歴', 'テンプレート管理', '管理者メニュー', 'ユーザー管理', '操作ログ管理', and '管理/パネル'. The main area is titled '文書管理' and '文書情報項目設定'. A message states: '文書情報の備考名称を変更、任意に5つまで追加できます。' with a red question mark icon and a '追加' button. Below is a table with the following structure:

文書情報項目	名称	入力形式
備考1	<input type="text" value="備考1"/>	文字入力
備考2	<input type="text" value="備考2"/>	文字入力
備考3	<input type="text" value="備考3"/>	文字入力
フィールド1	<input type="text"/>	文字入力
フィールド2	<input type="text"/>	数字入力
フィールド3	<input type="text"/>	日付入力

At the bottom of the table area is a '登録' button.

4.2.3. GMOサインのIP制限

本システムでは、GMOサインのAPI利用しておりますが、GMOサインではこのAPIを利用できるIPアドレスを制限する機能が備わっています。この機能により、アウトバウンドIPアドレスを許可するようにご設定ください。

GMOサインに管理者IDでログインし、左メニューから管理者メニュー>管理パネル>IPアドレス制限（API）に遷移します。その後、「API連携用IPアドレス制限を使用する」をチェックします。

組織設定

- ログインオプション
- 文書情報項目設定
- 文書保管一括変更
- IPアドレス制限（API）**
- 署名依頼
- 共有アドレス帳
- アプリ連携
- アカウント情報

IPアドレス制限（API）

従来のAPI連携用IPアドレス制限を使用する（2025年10月15日まで利用可能）

API連携用IPアドレス制限を使用する

※以下の「API連携用IPアドレス制限の設定」を事前に行なってください。
2025年10月以降はこちらの設定に自動で切替えとなります。未設定の場合、APIアクセスができなくなりますのでご注意ください。

すべてのIPアドレスをAPIアクセス許可する

※本設定によるセキュリティ低下のリスクを確認した上でご利用ください。

「API連携用IPアドレスの制限の設定」では以下の表にあるIPアドレスを追加し、保存を押下します。

IPアドレス	プレフィクス	コメント
54.65.148.3	32（空欄でも可）	「X-point連携」など任意のコメント
54.65.255.46	32（空欄でも可）	同上

アプリ連携

アカウント情報

※本設定によるセキュリティ低下のリスクを確認した上でご利用ください。

API連携用IPアドレス制限の設定

APIアドレスの設定を100件まで登録できます。(IPアドレスはIPv4アドレスのみ設定可能です。)
 アクセスのあったIPアドレス一覧

IPアドレス プレフィックス ?

コメント

許可IP	プレフィックス	コメント	削除
54.65.148.3	32	アウトバウンドIP①	<input type="button" value="削除"/>
54.65.255.46	32	アウトバウンドIP②	<input type="button" value="削除"/>

サービス連携用IPアドレスの許可

GMOサインと連携するサービスのIPアドレスを一括で追加できます。
 ※一覧に記載のないサービスと連携する際は、サービス提供元のIPアドレスを追加してください。
 ※連携サービスを選択していてもアクセスできない場合には、GMOサインまでお問い合わせください。連携サービス元でIPアドレスを追加している可能性があります。

サービス連携用IPアドレスの設定

設定が反映されるまで1時間程度かかる場合があります。

参考：GMOサイン ヘルプセンター
[APIのIPアドレス制限解除<オプション>](#)

4.3 連携時に送付されるメールの種類及び関連パラメータの設定

メール種類	送付タイミング	From メールアドレス	送付先メールアドレス
署名依頼メール	AgileWorks側でWebhook送信時	noreply@gmosign.com	フォーム内で指定した「締結先情報」の「担当者メールアドレス」
署名完了メール	GMOサイン側で署名完了時	noreply@gmosign.com	フォーム内で指定した「締結先情報」の「担当者メールアドレス」、フォーム内で指定した「申請者メールアドレス」
エラーメール	本システムでエラー発生時	電子サイン連携設定画面で入力した「メールのFROMアドレス」※	電子サイン連携設定画面で入力した「エラーメールTOアドレス」

※電子サイン連携設定でフォームの申請者にもエラーメールを送信する設定をしていれば、フォーム内で指定した「申請者メールアドレス」にも送付されます。

4.4 サンプル帳票内設定パラメーター一覧

以下の項目削除、または ID 変更は行わないでください。

タグ名	ID	型	入力 必須	削除 可能	備考
申請日	apply_date	Text		●	申請時、yyyy 年 mm 月 dd 日のフォーマットに合わせて自動入力されます
所属会社	sales_organization_nm	Text	●		記入内容は GMO サインの所属組織に連携されます
申請者	sales_name_nm	Text	●		申請時、申請するユーザの名前が自動入力されます
申請者メールアドレス	sales_email	Text	●		申請時、申請するユーザのメールアドレスが自動入力されます 電子サイン連携設定で「申請者メールアドレス宛にもエラーメールを送信する」にチェックを入れている場合、エラーが発生した際はこのフィールドに入力しているメールアドレス宛にエラー通知メールが送信されます。
契約書名	document_name	Text	●		添付する契約書名を入力する欄です。 この値が GMO サイン側で件名として表示されます
締結先情報：会社名	customer_organization_nm	Text	●		署名依頼先の会社名を入力します [複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]
締結先情報：担当者名	customer_name_nm	Text	●		署名依頼先の担当者名を入力します [複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]
締結先情報：担当者メールアドレス	customer_email	Text	●		署名依頼先の担当者メールアドレスを入力します [複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]
アクセスコード	access_code_input	Text			入力した内容は連携した書類に署名する際のアクセスコードと連携されます
言語	language_input	Comb			選択した言語で締結先メールが送信されます
契約/取引日	contract_date	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>契約/取引日に連携されます
契約満了日	contract_expiration_date	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>契約満了日に連携されます
所属	post_nm	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>所属に連携されます
担当者	name_nm	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>担当者に連携されます

契約/取引金額	contract_sum	Integer		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>契約/取引金額に連携されます
保管場所	storage_location	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>保管場所に連携されます
備考 1	comment_1	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>備考 1 に連携されます
備考 2	comment_2	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>備考 2 に連携されます
備考 3	comment_3	Text		●	記入内容は GMO サインの書類詳細>備考 3 に連携されます
フォルダ ID	folder_id_ [数字]	Text		●	GMO サイン側で作成しているフォルダ ID を指定することで書類をフォルダ内に格納できます。 複数フォルダに格納する場合は、4.2 内[フォルダ ID の設定方法]を参照して下さい。
署名期限日	sign_due_date	Text		●	GMO サイン側での署名期限の日付を設定することができます。 [複数社間契約時に設定する場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成して下さい]
署名期限時間	sign_due_time	Text		●	GMO サイン側での署名期限の時間を設定することができます。 [複数社間契約時に設定する場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成して下さい]
署名期限固定	sign_due_lock	Checkbox		●	チェックを入れることで、GMO サイン側での署名者の署名期限を固定できます。(値が 1 の時は固定、2 の時は固定しません。) [複数社間契約時に設定する場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成して下さい]
可視署名チェック	is_invisible_sign	Checkbox	●		チェックを入れている場合は可視署名となります。(値が 1 の時は不可視署名、0 の時は可視署名で連携されます)
署名依頼画面起動	registration_screen	Checkbox		●	署名依頼画面を起動する方法で連携するかを設定します。 (値が 1 の時は署名依頼画面起動方法、2 の時は従来の自動送信方法で連携されます) 値が 1 の場合、埋め込み設定および締結先埋め込み設定、申請者署名箇所設定、締結先署名箇所設定は送信できません。
自動署名	sign_image	Checkbox		△	可視署名時、チェックを入れている場合は、申請者の署名を自動で行い、申請者への署名依頼メールを送信しません。 (値が 1 の時は自動署名を行い 2 の時は自動署名を行いません) 不可視署名で連携する際には、チェック値に関わらず自動署名を行います。 可視署名を行う際はこの項目は削除できません。
署名画像ファイル	registered_image	Text		△	自動署名時に GMO サインに提出している画像のファイル名を指定することで申請者の押印画像を指定

					<p>したものにすることが可能です。</p> <p>指定するファイル名は拡張子まで記入する必要があります。</p>
申請者：署名座標（左端）	ssps_x	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に申請者が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p>	
申請者：署名座標（右端）	sspe_x	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に申請者が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p>	
申請者：署名座標（上端）	sspe_y	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に申請者が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p>	
申請者：署名座標（下端）	ssps_y	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に申請者が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p>	
申請者：署名ページ	sales_page_no	Text	△	<p>署名 PDF 内のどのページに署名を行うか指定します。</p> <p>存在しないページを指定すると連携時にエラーとなります。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p>	
締結者署名座標（左端）：	csps_x	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に締結先が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p> <p>[複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]</p>	
締結者：署名座標（右端）	cspe_x	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に締結先が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p> <p>[複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]</p>	
締結者：署名座標（上端）	cspe_y	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に締結先が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p> <p>[複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]</p>	
締結者：署名座標（下端）	csps_y	Text	△	<p>0~100の数値で署名 PDF に締結先が署名する箇所を指定します。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p> <p>[複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]</p>	
締結先：署名ページ	customer_page_no	Text	△	<p>署名 PDF 内のどのページに署名を行うか指定します。</p> <p>存在しないページを指定すると連携時にエラーとなります。</p> <p>可視署名を行う際はこの項目は削除できません。</p> <p>[複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]</p>	

締結先：署名者変更許可	is_signer_change	Text		<ul style="list-style-type: none"> 締結先が、署名者変更を行うことが可能かを指定します。 値が 1 の場合は署名者変更可能になります。 値が 2 の場合は署名者変更ができません。 設定値が存在しなかった場合のデフォルト値は[2:無効]です。 [複数社間契約を行う場合はこのフィールド ID の末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください]
埋め込みテキスト配置(左端)	ftps_x	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みテキスト配置(右端)	ftpe_x	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みテキスト配置(上端)	ftpe_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みテキスト配置(上端)	ftps_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みテキスト配置(ページ番号)	ft_page_no	Text		<ul style="list-style-type: none"> どのページに埋め込みテキストを配置するか指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みテキスト配置	ft_font_size	Text		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込みテキストのフォントサイズを指定します。 入力がない場合は 10.5 と自動で設定されます。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みテキスト	ft_fill_text	Text		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込みテキストの内容を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付配置(左端)	dtps_x	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込み日付を配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付配置(右端)	dtpe_x	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込み日付を配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付配置(上端)	dtpe_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込み日付を配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付配置(下端)	dtps_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込み日付を配置する箇所を指定します。

					複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付配置(ページ番号)	dt_page_no	Text		•	どのページに埋め込み日付を配置するか指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付(フォントサイズ)	dt_font_size	Text		•	埋め込み日付のフォントサイズを指定します。 入力がない場合は 10.5 と自動で設定されます。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付	dt_date_text	Text		•	埋め込みたい日付を入力します。 入力する日付は YYYYMMDD の書式になっている必要があります。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込み日付書式	dt_type	Com boBo x		•	埋め込み日付の表示書式を以下の数字で設定します。 1: YYYY/MM/DD 2: YYYY 年 M 月 D 日 3: DD/MM/YYYY 4: MM/DD/YYYY 5: GGE 年 M 月 D 日(令和 6 年 2 月 7 日) 6: DD MMM YYYY(7 Feb 2024) 7: MMM DD YYYY(Feb 7 2024) 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みチェックボックス配置(左端)	cbps_x	Text		•	0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みチェックボックス配置(右端)	cbpe_x	Text		•	0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みチェックボックス配置(上端)	cbpe_y	Text		•	0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みチェックボックス配置(下端)	cbps_y	Text		•	0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みチェックボックス配置(ページ番号)	cb_page_no	Text		•	どのページに埋め込みチェックボックスを配置するか指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください
埋め込みフリーテキスト配置(左端)	cs_ftps_x	Text		•	0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みフリーテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。

埋め込みフリーテキスト配置(右端)	cs_ftpe_x	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みフリーテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
埋め込みフリーテキスト配置(上端)	cs_ftpe_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みフリーテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
埋め込みフリーテキスト配置(下端)	cs_ftps_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に埋め込みフリーテキストを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
埋め込みフリーテキスト配置(ページ番号)	cs_ft_page_no	Text		<ul style="list-style-type: none"> どのページに埋め込みフリーテキストを配置するか指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
埋め込みフリーテキスト配置(フォントサイズ)	cs_ft_font_size	Text		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込みフリーテキストのフォントサイズを指定します。 入力がない場合は 10.5 と自動で設定されます。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
埋め込みフリーテキストプレースホルダ	cs_ft_ph_text	Text		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込みフリーテキストのプレースホルダを指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
埋め込みフリーテキスト入力必須	cs_ft_require	CheckBox		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込みフリーテキストの入力を必須にするかを指定します。 必須にしたい場合は 1, 任意にしたい場合は 2 を指定することで設定が可能です。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付配置(左端)	cs_dtpts_x	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に日付入力欄を配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。

締結時日付配置 (右端)	cs_dtpe_x	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に日付入力欄を配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付配置 (上端)	cs_dtpe_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に日付入力欄を配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付配置 (下端)	cs_dtpe_y	Text		<ul style="list-style-type: none"> 0~100 の数値で署名 PDF に日付入力欄を配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付配置 (ページ番号)	cs_dt_page_no	Text		<ul style="list-style-type: none"> どのページに埋め込み日付を配置するか指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付配置 (フォントサイズ)	cs_dt_font_size	Text		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込み日付のフォントサイズを指定します。 入力がない場合は 10.5 と自動で設定されます。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付自動 入力	cs_dt_is_auto	CheckBox		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込み日付を自動で入力するかを指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付入力 書式	cs_dt_type	ComboBox		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込み日付の表示書式を以下の数字で設定します。 1: YYYY/MM/DD 2: YYYY 年 M 月 D 日 3: DD/MM/YYYY 4: MM/DD/YYYY 5: GGE 年 M 月 D 日(令和 6 年 2 月 7 日) 6: DD MMM YYYY(7 Feb 2024) 7: MMM DD YYYY(Feb 7 2024) 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付入力 必須	cs_dt_require	CheckBox		<ul style="list-style-type: none"> 埋め込み日付の入力を必須にするかを指定します。 必須にしたい場合は 1, 任意にしたい場合は 2 を指定することで設定が可能です。 自動入力をする設定になっている場合はこの項目の入力内容は「任意にする」で固定になります。

					複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時日付プレースホルダ	cs_dt_ph	Text		•	埋め込み日付のプレースホルダを設定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時チェックボックス配置(左端)	cs_cbps_x	Text		•	0~100の数値で署名PDFにチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時チェックボックス配置(右端)	cs_cbpe_x	Text		•	0~100の数値で署名PDFにチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時チェックボックス配置(上端)	cs_cbpe_y	Text		•	0~100の数値で署名PDFにチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時チェックボックス配置(下端)	cs_cbps_y	Text		•	0~100の数値で署名PDFにチェックボックスを配置する箇所を指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時チェックボックス配置(ページ番号)	cs_cb_page_no	Text		•	どのページに埋め込み日付を配置するか指定します。 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。
締結時チェックボックス初期状態設定	cs_cb_type	Com boBo x		•	該当の締結者が署名依頼を開いたときにチェックボックスの状態がどうなっているかを以下の数字で指定します。 1:初期チェックなし(任意入力) 2:初期チェックあり(必須入力) 3:初期チェックなし(任意入力) 複数個設置する場合はこのフィールドの末尾に「_{番号}」を入力したものを作成してください 複数社間契約で利用する場合は「cs」の後に「_{番号}」を追加したものを作成してください。

■ 改訂履歴

改版	改版内容
2023年12月21日版	初版リリース
2024年2月14日版	3.連携内容の更新,可視署名についての説明を追加 4.4.登録項目の更新
2024年4月30日版	3.申請者メールアドレスの説明の追加 4.3 エラーが発生時のメール送信先に申請者メールアドレスの記載を追加 4.4 申請者メールアドレスの説明の追加
2024年5月31日版	3.添付できる PDF の制限についての記述追加、表の更新 4.4.項目の更新
2024年7月31日版	3.複数枚フォーム利用時の注意事項を記載 3.フォルダ ID,複数社間契約の説明を追加 4.4.「フォルダ ID」の説明を追加,複数社間契約の説明を追加
2024年9月9日版	1. 電子サイン連携システム全体概要, 2 社間契約に関する記述を削除 3.複数社間契約,署名期限日の説明を追加 4.4 複数社間契約,署名期限日の説明を追加
2024年11月12日版	4.1. エラー時の対応 エラー発生時に書類が更新されている旨を追記
2025年1月24日版	4.4. 署名者変更許可のパラメータ「is_signer_change」を追加
2025年5月12日版	3.自動署名時,埋め込み情報の説明を追記 4.4.埋め込み情報関連のパラメータを追加
2025年6月30日版	3 利用 複数の PDF を添付したときエラーとならず、1 件目を署名 PDF、2 件目以降を確認書類と扱うように変更 4.4 サンプル帳票内設定パラメータ一覧 サンプル帳票パラメータの添付 PDF 表記を署名 PDF へと変更
2025年9月30日版	3. 複数枚フォーム利用時のエラーについての文章を削除 4.4 contract_nuber を削除 4.2.3. GMOサインのIP制限章追加
2025年10月28日版	1. 電子サイン連携システム全体概要 2.2 設定の流れ 3 利用 連携開始条件について、承認完了時以外の場合がありうるため表記を修正 2.2.2フォーム設定(X-point 側の設定) 承認完了時以外に連携を行う場合に必要な設定を追記
2026年1月30日版	1. 電子サイン連携システム全体概要 語句の表現を調整 画像の差し替え 4.3 連携時に送付されるメールの種類及び関連パラメータの設定 「自動署名」の追加 署名依頼画面起動による連携方法について